

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名	真田地域自治センター
-------	------------

【平成29年度重点目標】

重点目標	真田に暮らす誇りと生きがいを感じる住民自治体制の確立		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	<p>①新たな住民自治体制の確立に向けた啓発活動</p> <p>(1) 地域内の合意形成に向けた懇談会等の開催</p> <p>(2) 「準備会だより」等による情報提供</p> <p>②住民自治組織の設立</p> <p>③住民自治組織の活動の方向づけ</p> <p>(1) 活動体制の整備支援</p> <p>(2) 地域まちづくり計画の策定支援</p> <p>(3) 事業内容等の検討・協議</p>	<p>①</p> <p>(1) 懇談会等を開催し、住民自治組織の必要性の周知・理解を図る</p> <p>(2) 5月に「準備会だより」を全戸配布以後、情報提供による啓発活動を通年実施</p> <p>②年内の設立</p> <p>③</p> <p>(1) 人員体制の整備、必要物品等の調達</p> <p>(2) 計画策定の支援</p> <p>(3) 次年度以降の活動内容等決定</p>	<p>①(1) 新たな住民自治組織の必要性を周知し理解を図るため、真田地域内の22団体との懇談会を開催し、延べ約900人の参加があった。</p> <p>(2) 情報提供を行うため、「真田まちづくり準備会だより」を5月16日の定期送達で全戸に配布するとともに、「真田地域自治センターだより(9月号)」でも、住民自治組織が設立されたことの周知を図った。</p> <p>②7月1日に設立総会を開催し、真田地域の新たな住民組織となる「真田の郷まちづくり推進会議」が設立された。</p> <p>③(1) 評議員会に「規約の一部改正」と「理事の解任及び選任」の承認を求めるなど、組織基盤や事務体制の整備に取り組んでいる。</p> <p>(2) 設立以降、3回の理事会を開催し、「地域まちづくり計画」の策定に向け、地域づくり委員会と連携しながら地域課題の把握や策定方法等についての協議・検討を進めている。</p> <p>(3) 具体的な事業内等については、地域住民や各種団体等との意見交換等を重ねながら理事会、評議員会において決定できるよう準備を進めている。</p>
2	<p>重点目標 菅平高原スポーツリゾート地の整備促進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>①菅平地区振興施設整備の推進</p> <p>(1) 整備スケジュールに沿って着実な進捗を図る</p> <p>(2) 管理運営に係る庁内及び関係機関との調整</p> <p>②植生環境保全に向けた実証実験等の実施及びまとめと検証</p> <p>③ラグビーワールドカップやオリンピックのキャンプ地誘致に向けた環境整備</p> <p>・サニアパークの環境整備</p> <p>④スポーツツーリズム推進事業による誘客活動への支援</p>	<p>①</p> <p>(1) 建築主体工事の進捗を図る。付帯工事及び外構工事の発注</p> <p>(2) 施設の運営体制や利用料金等について検討</p> <p>②年度末までに実証実験結果をまとめ検証</p> <p>③11月までにグラウンド等の整備</p> <p>④地方創生推進交付金を活用した支援</p>	<p>①(1) 建築本体工事は9月中に鉄骨工事を完了し屋根工事に着手。年内に外壁・サッシ工事を完了し内装工事に着手の見込み。付帯工事の契約を7月に締結。外構工事は設計が完了し発注に向けて準備中。</p> <p>(2) 地元建設委員会からの意見聴取や他市の事例等を参考に検討中。年内に機関決定の見込み。</p> <p>②7月のモニタリング調査、10月の実証実験結果を踏まえて平成30年1月中旬までに取りまとめを目指す。</p> <p>③キャンプ地で使用予定のメイン・Dグラウンドを、土をほぐすためのコア抜き、芝回復のための種まき(2回)を行いグラウンド整備を図った。</p> <p>④地方創生推進交付金の採択を受け、誘客の支援を図るため補助金を6月にSPT協議会へ交付。</p>
3	<p>重点目標 真田ブランドを生かす観光事業の推進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>①真田の郷周遊観光バスの運行</p> <p>②真田氏歴史館での企画展の開催</p> <p>・山家神社に伝わる真田氏ゆかりの品の企画展を開催</p> <p>③真田まつりの開催</p> <p>・「真田の郷」の郷土愛と人とのつながりを醸成・発信するまつりを開催</p> <p>④真田氏関連の歴史講座の開催</p>	<p>①4月～11月の間運行、利用者延2,800人</p> <p>②7月～10月の開催、企画展中の入館者数8,000人</p> <p>③8月11日開催、来場者数8,500人</p> <p>④年度内に1講座開催</p>	<p>①4・5月、7・8月の28日間に224便を運行し、延べ738人の利用があった。(1便当たりの平均乗客数3.3人)</p> <p>②9月末までの企画展には10,866人の入館があった。</p> <p>※10月2日最終日までの入館者数：11,099人</p> <p>③8月11日に開催した第33回真田まつりには、8,500人の来場があった。</p> <p>④真田町文化協会との協働事業による平山優先生の歴史講座を1月21日(日)に開催予定。</p>
4	<p>重点目標 地域を守る自主防災活動の推進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>①自主防災組織の育成</p> <p>(1) 自主防災組織リーダー研修会の実施</p> <p>(2) 総合ハザードマップの利活用促進</p> <p>②防災訓練の実施</p> <p>(1) 重点地区における防災訓練の実施</p> <p>(2) 重点地区以外での、自治会単位による防災訓練の実施</p> <p>(3) 有線放送による伝達情報の即時性を活用した防災訓練の実施</p> <p>③災害時要援護者登録制度を活用した支援の充実</p> <p>(1) 自治会長、民生委員等への制度の周知及び防災訓練等への活用の働きかけ</p> <p>(2) 自治会支援班における連携の働きかけ</p> <p>(3) 更新作業の実施</p>	<p>①</p> <p>(1) 6月までに36自主防災組織を対象に実施</p> <p>(2) 6月までに総合ハザードマップを利用した研修会の実施</p> <p>②</p> <p>(1) 9月に本原地区で実施</p> <p>(2) 11月までに各自治会で実施</p> <p>(3) 各種防災訓練で有線放送を活用</p> <p>③</p> <p>(1) (2) 自治会長、民生委員への説明会を4回 合同会議を2回実施</p> <p>(3) 全自治会で更新作業を実施</p>	<p>①</p> <p>(1) (2) 5月19日に自主防災組織の役割やハザードマップの利活用等についてのリーダー研修会を開催し、32組織が参加。</p> <p>②</p> <p>(1) 9月2日に本原地区を重点地区として本原小学校を会場に13自治会、295人が参加して実施。</p> <p>(2) 長地区で3自治会・傍陽地区では2自治会で実施。</p> <p>(3) 非常伝達訓練及び参加啓発に有線放送を活用。</p> <p>③</p> <p>(1) (2) 自治会長との懇談会(合同会議)1回、その他資料提供等3回実施。個別に自治会へ説明会1回開催。民生委員への説明会2回(5月、9月)実施。</p> <p>(3) 更新作業は全自治会一斉更新とし、9月から12月にかけて実施中。</p>
5	<p>重点目標 公共交通の利用促進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>①公共交通の利用促進に向けたPR活動</p> <p>・地域住民や地域内事業所訪問による広報活動</p> <p>②バス利用促進のための各種イベントの開催</p> <p>・真田地域公共交通利用促進協議会の主催による、関係機関と連携した各種イベントの開催</p> <p>③真田地域公共交通利用促進協議会の運営</p> <p>・役員会及び総会の開催</p> <p>・利用促進に向けた調査、研究</p>	<p>①地域づくり委員会や自治会連絡会議等へ利用促進を呼びかける</p> <p>地域内の各事業所を訪問しPRを行う</p> <p>②利用促進のための各種イベントを7月から随時開催する</p> <p>③総会を7月、役員会は随時開催する</p>	<p>①7月・9月の自治センターだよりに利用促進の呼びかけの記事を掲載。</p> <p>各事業所の訪問については、事業所の異動時期に合わせ年度末に実施予定。</p> <p>②7月：七タバス(園児の描いた絵画71点展示)、8月：バス乗車体験(参加者500人余)、9～10月：回数券/定期券の特別販売企画(実施中)、7～8月：夏休み期間中にスタンプラリー(参加者43人)の4イベントを実施。</p> <p>③利用促進に向けた協調を図るため、6月9日に役員会、6月26日に29年度総会を実施。</p>

※ 評価基準 [◎：目標を上回る進捗] [○：目標どおり進捗] [△：未進捗の部分あり] [×：全て目標未進捗]

市長指示事項
・住民自治組織について、定着が図られるようフォローすること。・菅平高原スポーツリゾート地の整備促進は着実に取り組むこと。・公共交通の利用者が減少しないよう引き続き利用促進に取り組むこと。